

## ■ 訃 報

四回生 角田(安倍) 智慧子様 13・03・01没

会員名簿トップにお名前が見られたお方で、千里小分校時代から千二小草創期の大先輩です。伊達しづ先生門下のピアニストで、終生児童のピアノ教育に盡くされました。

会誌四号十三頁、二〇〇〇年記念大会に英姿を次の記事で偲ぶことができます。

「お開きも近づき、会員から二十世紀の終わりを懐かしの蛍の光でとの発案があり、ピアノ伴奏を最上級生の角田智慧子氏にお願いし、全員で明治十四年当時の歌詞で斉唱し、来世紀の再会を誓い合いながら散会しました」

米寿のときご自宅をお訪ねし、近くのレストランでお食事を一緒にしました折、昭和十五年に千里山を去られましたので、大戦前の良き千里山と母校のお話しを楽しく懐想なさっておられたのが印象的でした。

(14柿崎様記)

十七回生 山本 勝弥様 13・08・24没

佐井寺から遠路総会に何度かご出席頂きました。ここ数年は体調を崩されご出席頂けなかったのが残念です。(編集部)

二十四回生 河井 康郎様 13・12・09没

24奥田陽一さんによる本誌追悼文「河井康郎君を悼む」をご覧ください。

謹んで三人の方々のご冥福をお祈りいたします

## 編集後記

今年も何とか皆様のお陰で、面白い中身の会誌を送りできたのではないかと感謝と安堵の混ざった気持ちでおります。

今回は高橋一三様が投掛けて下さった『尾高先生』のキー・ワードのお陰で、数人の大先輩方から貴重な戦前の千二校についての想い出話しを頂きました。

私も黒澤琉美子様より『童話』なるキー・ワードを頂き、童話風に思い出話を書かせていただきました。また平尾隆弘さんは今期で文芸春秋社・社長を退かれますが、面白い話が続出、次回にも紹介させていただきます。『モッコちゃんのコピー店』に絡むことでも面白い話の展開がありました。

さて、次回はどなたが、どんなキー・ワードをくださるのでしょうか？そしてさらにどのような展開を遂げていくのでしょうか、乞うご期待です。(萩原記)